

第一回 談話会 開催

号外REFニュースでもお知らせしたように、第一回談話会が昭和五八年一〇月六日午後六時三〇分より福井県職員会館にて開かれました。

今回は、REF理論研究会の第五次テキスト「風景学入門」の著者でもある東京工業大学教授（景観工学地域計画専攻）中村良夫先生をお招きして、「風景学入門」に関する質問という形でお願いたしました。

（以下に、その内容の一部を紹介いたします。）

なお、参加者は、REF会員一九名で、活発な質疑応答が交わられました。（参加者は以下のとおりです。敬称は略させていただきます。）

：今野、北嶋、本多、児玉、井幡、塚本、稲葉、沢崎（幸）、川村、杉本、平野、中田、石森、近藤、村本、前川、加藤、北本、浅井、その他三和測量の方々

質問の中から

「土木工学における風景学は、いかにあるべきか」

今までの土木工学は、機能性、コストのみをファクターとした設計がなされてきた。近年、これらの設計理念が疑問視され、風景学を取り入れる傾向になりつつある。

しかし、土木面への風景学の導入は、大きな制約があり、これを克服するには、風景学をうけいれる社会的土壌が必要であり、土木技術者の風景学的能力を向上させることが急務となる。

風景学が土木工学にうけいれられにくい大きな要因として、ひとつに従来の土木設計は、マニュアル至上主義的であったことがあげられる。計量化出来ない部分に本質をもつ風景学は、従来人間の生きる上での最低限の要求ですまされ、それで認められてきた構造物に対し、生活水準が向上した現在、その中への文化的欲求が発生した状況から生まれたものである。

元来、行政サイドは、このような非計量的分野に関する知識は不得手であり、それを克服する行政的戦術手段として考えられることは、コンサルタントの力が

發揮できるような社会的土壌を作りだすことであると思われる。その土壌に立って、行政担当者は風景学に対する知識的、技術的な力を養うことが必要となる。

その他、「風景学入門」に関する質疑応答が活発に行なわれました。



REF活動も第4期スタートから五カ月を経過し、各分科会活動も軌道にのったというところのようです。今回は、分科会活動の猫の手の存在である学生会員候補の活動を取りあげてみました。

就職戦線も、一様の落ち着きをみせたこのごろですが、REF分科会においても、例外ではありません。某分科会は、早くも来期の学生会員獲得へと動いている模様です。入会予定の学生三名は、白刃の矢を立てられ、うれしい悲鳴を上げているとか。

青田刈りの成果やいかに

会費納入のお願い

先日の幹事会でも件案にあげりましたが、REF会費の未納（二〇万円余り）により只今財政緊迫をきたしております。その為、REF機関誌三号の代金も一部未納の状態となっております。

会費未納の会員の方は、至急お払い込み下さるようお願い申し上げます。

第一回 幹事会 報告

第一回幹事会が、昭和五八年九月二一日（木）午後六時に福井大学交通計画研究室において開かれました。以下に承認、決定事項を報告します。尚、次回は、一月三〇日（水）の予定です。

一、 地方都市研修会の件

：土木学会での地方都市問題研究会の設置に伴い、横浜で勉強会、懇親会が開催される件。

：一月一七日～一八日に土木学会土木計画学講習会（地方都市計画担当者を対象）が開かれる予定。

二、 シンガポール調査報告会の件

：一月二四日（木）談話会開催の予定

三、 国内研修の件

：次回幹事会までに、案を提出

四、 談話会の件

：一〇月六日（木）

中村良夫先生（東工大教授）の風景学入門に基くディスカッション

：一月二四日（木）シンガポール調査報告会

：一月 今野修平先生のシルクロード

：二月下旬 竹内伝司氏（中部工大）のオーストラリア・ヨーロッパ

五、 REF会議室の整備と活用の件

：整備委員長に沢崎（幸）氏
資料、掘出し物があれば情報提供に御協力を！

六、 その他雑件

：会計より 未納金（前期未納金）が二〇万円余りあるとの事

REF 談話会開催

のお知らせ

REF 談話会が左記の日程にて開催されます。今回は、昭和五八年八月九日～一三日にかけて行なわれたシンガポール都市調査に関する報告会といたしまして行なわれます。会員各位の積極的な参加を期待しております。

日時：昭和五八年十一月二四日（木）午後六時三〇分

場所：福井県職員会館

第30回理論研究会報告

10月20日（木）
REF 会議室

自然科学系と社会科学系のテキストが紹介され、それぞれ班分けを行なう。

自然科学系（A班）は、「都市の自由空間一道の生活史から」 鳴海邦 著中公新書、社会科学系（B班）は、「都市の思想—保存修景への指標—」 西川幸治 NHKブックス、にそれぞれテキストが決定。

次回は、A班が12月1日（木）、B班が11月16日（水）、REF 会議室の予定です。

分科会だより

交通

10月13日（木）、11月10日（木）
福井大学交通計画研究室

本多氏、山本氏による高齢者に関する文献の紹介、村本嬢がスウェーデンの老人生活、日本とアメリカの老人問題の比較について発表。また、老人の交通事故、老人施設の分布について金子君が報告をおこなう。また、前川氏が高齢化問題の国際比較をおこなう。

次回は、12月15日（木） 福井大学交通計画研究室の予定です。

水

本分科会メンバーは、現在みな多忙のため、只今活動停滞中。
次回からの活動を期待しております。

次回は、未定

住

10月4日（木）、10月13日（木）
コミュニティー

町内会、自治会、家族生活は、それらを取りまく地域社会に縛られ、またその反面、地域社会に依存している。
そのような状況で町内会活動とそれを取りまくの地域状況は密接な関わりあいをもつという観点より両者のクロスをとる。

次回は、未定

緑

9月13日（火）、10月1日（土）、
10月16日（日） 福井大学交通計画研究室

「足羽山公園利用実態調査」のアンケート項目と交通量調査地点についての検討を全員で行なう。また足羽山にて予備調査、本調査を行なう。
天候にも恵まれ、8:00~18:00までの10時間におたり、本多研究室の佐藤君の協力を得て、総勢8名にて交通量調査とアンケート調査を行なう。

次回は未定

土地利用

10月13日（木） REF 会議室

盛り場の利用実態に関するアンケートの原案を討議し、まず県職員に対象者を限定して調査を行なうことに決定する。

また、村松氏による都市指標と盛り場指標との相関関係についての報告がなされる。

次回は、前述のアンケート調査の中間報告と、沢崎（芳）氏による他都市の盛り場とのレイアウト面からの比較報告がなされる予定。

次回は、11月17日（木）REF 会議室の予定です。

第三回 幹事会 報告

第三回幹事会が、昭和五九年二月二日(木)午後六時にREF会議室において開かれました。出席者は、本多氏(幹事長)、福井氏(情報)、広部氏(水)、前川氏(理論)、加藤氏(談話会・広報)、村松氏(業務)、浅井君(広報)の八名で以下に承認、決定事項を報告します。

尚、次回は、四月一二日(木)の予定です。

一、談話会について

・三月竹内伝司先生(中部工大)によるボンネルフ(歩車共存道路)について
・今野修平先生(REF顧問)によるシルクロード

二、会友について

・金沢和夫氏と四月よりの就職が内定している学生会員の北本(緑分)、浅井(土地利用分)の両君の会友を承認しました。

三、第五回総会(五周年)について

・七月二日(木)に内定
五周年の記念行事を次回までに支援グループにより案を作成

四、REF会議室の整備について

・文献、資料等の管理システムを確立する(福井氏担当)
整備予備費の提示(沢崎氏担当)

五、その他

・第五期予算案を次回幹事会までに作成(支援グループ)
・REF第五号の原稿の締切五月一日に決定(編集委員長 加藤氏)

第二回 報告事項

・会計報告(未収会費二〇名分 二二万)
・委託研究の事業報告
・会議室の借用料を四月よりREF事業部が全額負担

第二回 談話会 開催

第二回談話会が昭和五八年一月二四日(木)午後六時三〇分より福井県職員会館二〇五号室で行なわれました。

今回は、去る昭和五八年八月九日より一三日まで行なわれた、シンガポール都市調査に関する報告会として開催いたしました。

本調査は、REFの四つの調査班(歩行空間、都市環境、商業空間、交通システム)と、YRP調査班の計五班から構成されました。

まず、本多氏による歩行空間調査班の報告、ついで都市環境(近藤氏)、商業空間(武井氏)、交通システム(川村氏)の報告がそれぞれおこなわれ、YRP調査班の代弁報告の後、活発な質疑応答がなされました。

なお参加者は、以下のとおりです。(敬称は略させていただきます。)

……富田、本多、万匠、広田、沢崎(幸)、塚本、川村、杉本、中田、武井、福井、北本、村本、浅井

ニューフェイス

竺文彦氏

勤務先：福井工業大学建設工学科

第三回 談話会 開催

号外REFニューフェイスでもお知らせしたように、第三回談話会が、昭和59年三月八日午後六時三〇分寄福井県職員会館にて開かれました。

今回は、中部工業大学助教授の竹内伝史先生をお招きして、先生御自身の海外視察レポートより「ヨーロッパ都市の地区内街路政策」という題で、ボンネルフ(Bonneluf)について、ヨーロッパにおける自動車との共存共栄ぶりを、スライドを使いながらの説明という形でお願いいたしました。

なお、参加者は、REF会員二十三名とそれにビクターとして奥山紀昭氏、三輪裕一氏を加え二十五名とかつてない盛況ぶりでした。

(参加者は以下の通りです。敬称は略させていただきます。)

……富田、本多、丹原、村松、奥居、加藤、川村、前川、村本、近藤、塚本、長村、沢崎、広田、中田、杉本、奥山、三輪、稲葉、中村、浅井、北本、金子、佐藤、古瀬

当日はまず竹内氏のヨーロッパ紀行、そして第二部として、ヨーロッパにおけるボンネルフのあり方・利用法についての講演でしたが、先生は終始にこやかで、銀幕に写しだされたヨーロッパの風景について、御自身の思い出をかみしめながら、実にほのほのとした解説に、参加された会員諸氏は、いつのまにか自分までヨーロッパの街角にいるのではないかと、錯覚されたのではないでしようか。

REF 第三回 海外研修会

日・時 八月四日(土) 17日(火)

調査地 タイ国 バンコク市

申し込み 締切は、四月十日

申し込み先 (本多、見玉、長村、近藤、稲葉)

あ ち ゃ ゃ あ い ば で

長かった冬も春の日ざしとともにようやく終りを告げようとしている今日このごろ、REF第4期活動の終了が近づいてきました。その忙しい折、2人の若者が福井大学大学院を修了し、分科会活動から離れることになりました。

ひとりには、土地利用分科会の浅井君で、彼は、大日本コンサルタント株式会社に入社する予定です。また、もうひとりには、緑分科会の北本君で、共同コンピュータ株式会社(本社：福井市月見五-四-四)に入社し、金沢事務所でのソフトウェアの開発に携わる予定です。ふたりとも、大学院で勉強、REFでの様々な活動など貴重な経験を生かして、社会に出ても臆する事なくがんばっていきつくりたいので、今後ともよろしくお願い致します。なお、就職後も、できるだけREFとは、関っていききたいと思っておりますので、連絡を密にして催し事にも参加するよう心がけるつもりです。 それでは、二人からの簡単な挨拶をどうぞ。

北本君

大学四年のときにREFの存在を知り、当時はなかなかユニークな活動が身近で行われているのだなと思っていました。しかし、大学院入学と同時に、REFに入会、そして分科会活動を開始するとともに、皆さんの地域に対する研究意欲の深さ、まじめな取り組み方を知り、自分としてもできるだけのことはやらなければならぬと感じたものです。分科会活動、談話会を通し、様々な事を学んできた結果、自分自身の問題に対する考え方も変わったように思われ、REFに参加した意義は大きかったと思います。なお、今後でもできるだけREFは関係を保っていききたいと思っておりますので、よろしく願います。

最後にREFの会員の皆さん、特に緑分科会の方々、どうもありがとうございました。

浅井君

なんといっても、モラトリアム人間である学生という立場で、様々な活動、勉強ができて、多くの社会人の方の公私にわたるお話しをお聞きできたことは、貴重な人生経験として蓄積されると思います。

土地利用分科会の皆様、各幹事の方々をはじめREF会員の皆様本当にありがとうございました。

REF会員の皆様の御健康と御活躍ならびに今後のREF活動のなご一層の発展をお祈り致します。

理 論 研 究 会 報 告

A班

- 第1回 12月1日(木)
- 第2回 1月12日(木)
- 第3回 2月16日(木)

第1回は、1章を北本君が発表。
第2回は、前川氏の発表の予定であったが、所用のため大幅に遅刻。討論者の予定の稲葉氏が代打で第2章を発表。
第3章を村本嬢が発表。

B班

- 第1回 11月16日

「I 都市の誕生」を浅井君が発表。討論では、都市論、福井の盛り場論にまで論議が発展(?)し、大いに盛り上がりました。
第2回は、会員が多忙のため延期。

次回は、A班が3月22日(木)、REF会議室の予定です。
B班は、未定です。

中 間 報 告 会

開 催 さ れ る

第4期REF活動の中間報告会が、昭和59年1月19日(木)午後6時から福井県職員会館で開催されました。同日は、近藤氏の司会のもと、富田会長の挨拶、本多氏(幹事長)挨拶につづき各分科会の発表、それに対する質疑応答がおこなわれ、その後盛大に懇親会が行なわれ、会員の親睦を深めました。

交 通

杉森氏、前川氏による高齢者に関する文献の紹介、村本嬢が高齢者居住のアンケートについて発表。
また、中間報告会にむけてそれぞれのテーマについて発表。
アンケートの集計結果を発表ののち、新年会をおこなう。

4月18日(水)
次回は、~~12月16日~~ 福井大学交通計画研究室の予定です。

水

九頭竜川の不定流計算が、終了しまとめの段階にはいる。

次回は、4月10日(火)
REF会議室の予定です。

住

町内会活動に関する学習は、前回をもつて終了し、続いてフィールドワークについて協議する段階である。

次回は、未定

緑

10月に実施したアンケート調査、交通量調査の集計方法について話しあう。
中間報告会までにかかなりの頻度で活動を行ったので、同分科会は一休みの状態です。

次回は3月26日(月) 福井大学交通計画研究室の予定です。

土 地 利 用

盛り場の利用実態に関するアンケートの予備調査の調査票の配布、中間報告の章立てをきめる。
集計結果報告を行ない、アンケート本調査の調査票の見直しをする。
また、回収票の集計作業、電算による集計のためのフォーマットを検討し、コーディング作業を行なう。

次回は、3月21日(水) REF会議室の予定です。

分 科 会 だ よ り

第五回 幹事会 報告

第五回幹事会が、昭和五十九年七月二十日(木)午後六時にREF会議室において開かれました。出席者は、本多氏(幹事長)、福井氏(情報)、広部氏(水)、前川氏(理論)、加藤氏(談話会・広報)、井幡氏(会計)、杉本氏(緑)、稲葉氏(研修会)、塚本氏(交通)、佐藤君(広報)の八名で以下に承認、決定事項を報告します。

- 一、 総会について (役割確認)
 - ・七月二十日 分科会報告(P.M六:三十)
 - ・場所は県職員会館 一部会 十五分 発表五分 応答十分
 - ・七月二十一日 総会(P.M二:00)
 - ・場所は厚生年金会館 (詳細は別記参照)
- 二、 REF第4号編集について
 - ・七月十四日発行予定 印刷部数は六〇〇部
 - ・七部つつ配布 ルートはREFニュースと同じ経路
- 三、 第五期役員について
 - ・第五期役員の前案を検討 総会にて発表および承認の予定
- 四、 REF会議室の整備について
 - ・文献、資料等の管理システムを確立する(福井氏担当)
- 五、 新分科会について
 - ・REF32号で紹介しました地盤分科会が正式に承認されました。(メンバー紹介) 福井氏、竹内氏、前田氏、本多氏、渡辺氏、それに学生会員が参加の予定
- 六、 会員・会友について
 - ・別記参考

七、 REFニュース配布ルートについて
・REFニュース配布ルートについて従来のものでは対応できなくなってきましたので変更がありました

八、 海外研修について
・すでに三回の事前講習が行なわれ本多先生以下十一名バンコク調査成功にむけて頑張っておられます。

九、 REF事務所の経費について
・当日、井幡氏(会計)より会計報告がありました。なお、来年度予算案については総会にて報告があります。

十、 その他
・地方都市研究会について委託研究について

NEW F.A.C.E

- 本多 秀夫氏 三和測量株式会社地質部 福井市花堂北一丁目七-二十五
- 前田 喜治氏 第一技術開発株式会社 福井市新保三丁目六〇二
- 渡辺 達也氏 日本情報サービス株式会社 大阪市西区土佐堀二-二七
- 渡辺 知幸氏 福井市建設部土木課 福井市大手三丁目十一

バンコク勉強会云々により

バンコク勉強会もすでに三回が終り、残すところあと一回となりました。この三回の勉強会取材してタイの文化、人間性に触れることができてとても有意義だったと思います。毎回毎回、忙しいなかを仕事帰りにこの勉強会に参加されたメンバーのみなさん、その熱意が遠くバンコクの空まで届きますように、心からお祈り申し上げます。

第四回 談話会 開催

第四回談話会が昭和五十九年五月十六日(水)午後六時三〇分より福井県職員会館二〇五号室で行なわれました。

今回は、去る昭和五十八年九月五日より十八日まで日本と中国の物流学者の学術交流が中国で行なわれた際、REF顧問で福井医科大学教授の今野修平氏がその一員として参加されました。中国についての見聞を深めて御帰国されましたので『中国西域の経済と物流』という題目で先生に中国西域の人、文化、現況について講演をお願いしました。

なお参加者は、以下のとおりです。(敬称は略させていただきます。)

- ……富田、本多、広瀬、沢崎(幸)、川村、村松、山本、加藤、村本、長村、竺、金子、佐藤、古瀬、野田(福井県立短大)。

当日はスライドを使い中国西域のスケールの大きな大自然や遺跡が紹介され、あまりの大きさ、広さ、そして美しさに会場からは終始ざわめきが絶えませんでした。またトルファン付近における人民の生活では先生得意のウンチク学が飛びだすなど、「いつかは中国!」と参加者一同が心に自覚されたのではないのでしょうか。来年のREF海外研修はひよっとしたら……。

先日、はがきで通知しました総会予定について、先の幹事会での詳細が決定しましたので付け加えて御案内します。

二十日の司会は福井卓氏(地盤)、二十一日は児玉忠氏(副幹事長)に決定

なお、当日は静岡県庁河川課の丹原光隆氏(REF会友)が地元の研究家を同伴されて来福されることとす。山梨YRPに次ぐ交流となり、活発な意見の交換が期待できそうです。

(お詫び: はがきに記載しました馬場功氏の講演テーマは「都市と空間」の誤りでした。謹んでお詫び申し上げます。)

私が、この店を開店して八年になる。一口に八年といっても、この業界ではかなり長い方である。自分自身、店の改装もせず、カラオケなども入れずによくここまでやってこれたと思っている。記者の方に、八年間の思い出を折りこんで、福井の街の変遷について何か書いて欲しいと頼まれて、久しぶりにペンを執り、当手を振りかえってみた。

私が、このドイツパブを始めた頃、福井には、東京から五年ほどおられて流れてきたパブブームであった。それは、今のカフェバーやディスコといった類の流行と同じようなものである。当時、福井には、「一番館」「メルサ」「フィロ」「フアーストパブ」などが、「パブ」と銘打って店を出していた。もちろん、今残っている店は一軒もない。また、当時、パブと呼ばれたものは、今のように雑居ビルやきらびやかな照明はなく、瓦葺きのおんぼろ小屋を少し改造した、それは質素なものであった。

もちろん、福井という独特の風土をもつ土地にこのようなハイカラな店を出すには、それなりの覚悟が必要であったわけで、開店から一年間、毎月十数万円以上の赤字であった。開店して一年後、私は真剣に店を閉めようと考えた。我が店に救世主が現れたのはその時であった。それは、某国立大学の学生たちであった。当時の学生はというと、いまの学生に比べて、あらゆる面で豪快であったと思う。大声で歌を歌う者もいれば、真剣に哲学の話をして、あげくの果てに、ぶったおれるまでケンカする者もいた。真剣に泣き、真剣に笑い、単純なようで中身のつまった学生が多かったように思う。

ところが、ここ三、四年の間に学生の質は急激に変ったような気がする。酒を飲んでいても、何を話すわけでもなく、ただ小声でヒソヒソ。話の内容もつまらないような、同じ髪型や服装。これも時代の流れなのであろうか……。

勿論、私はごく限られた部分でしか、かれらを見ることはできない。また、私の住んでいる世界も非

常に狭いと思う。しかし、私はこの傾向がとても淋しいのである。私にとって街は夜であり、また酒の場である。その一面から見た我が街福井が、そしてそのコーディネートである学生たちが、いまやその彩色を失いつつある。

わが街、福井、若者が力の限り躍動する街。そして彼らの休息の場として、この店がいつまでも存在していたいものである。

G・G・C ドイツパブ マスター

笹川 礼次郎

我が街 福井について

編集部では、REFニユース新企画としまして「我が街 福井」を今月から掲載します。これは我々の住む街、福井について各界で活躍されている方々からコメントを頂きこの街の問題点などについて、より広い立場から考えていくためのものです。第一回目は福井ラジオが行なったアンケートの結果人気、料理専門の店として唯一のベストスリー入りしたドイツパブのマスターにお願いしました。なお、会員皆様の御意見、ご希望をお待ちしています。



第六回総会 開催される

第五期活動をしめくり、次期活動計画を討議する第六回REPE総会が、七月二十日(土)午後二時から県職員会館において開かれました。総会司会の塚本氏による開会の辞で始まり、会長挨拶、会友祝辞(長谷川氏、大日本コンサルタント)、新入会員紹介、会員等異動報告、本多(義)氏(幹事長)による第五期活動報告と続き、議決事項三件が提案され、承認されました。(以下にその内容を記載)

次いで、稲葉氏(交通)の司会により各分科会から一年間の活動報告が行なわれました。交通分科会は金子氏、水分科会は田辺氏、住分科会は広田氏、緑分科会は高嶋氏、中田(治)氏、土地利用分科会は武井氏、地盤分科会は福井氏が発表。それぞれの報告について活発な質疑応答がなされ、研究内容の深さがうかがわれました。続いて、第六期活動方針が行なわれ、新幹事長の見玉氏による決意表明と、各分科会、理論研究会、談話会、研修会の活動についてのアウトラインが各分科会長及び各幹事により説明されました。またその後、懇談会が催されて非常に盛り上がったひとときでした。

議決事項

- ・案件2 第六期役員案(敬称略)
- 会長 富田伊太郎
 - 副会長 北崎重昭、本多義明
 - 幹事長 見玉 忠
 - 副幹事長 加藤哲男
 - 幹事 長村一男(総務)
 - 塚本勝典(財務)
 - 前川政人(交通)
 - 笠 文彦(水)
 - 広田重哉(住)
 - 中田治和(緑)
 - 武井幸久(土地利用)
 - 本多秀夫(地盤)
 - 杉本政一(理論研)
 - 稲葉隆夫(談話会、広報)
 - 村松俊明(研修会)

案件1：第5期 決算報告書

(昭和60年3月31日)

収 入		支 出	
摘 要	金 額	摘 要	金 額
1. 前期より繰越	58,299	1. 分科会活動助成費	0
2. 会 費	466,000	2. 談話会助成費	52,506
3. 総会懇親会費	82,500	3. 報告書印刷費	336,000
4. 中間報告会費	47,000	4. 総 会 費	238,485
5. 談話会費 (非会員)	1,000	5. 中間報告会費	64,341
6. 預金利息	1,323	6. 通信連絡費	22,800
7. 繰入金(赤字)	83,941	7. 会議室管理費	24,931
合 計	740,563	8. 雑 費	1,500
		合 計	740,563

* 第5期までの
会費未納金 308,000

監 査
山本 進
福原 幸(情報)

第一回 談話会 告示

日 時：十月二日(木) 午後六時三〇分
会 場：福井県職員会館 二〇一号室
テ ー マ：『大正と福井市』

このたびは
二二一の発行が第三十七号から三カ月も遅れたことを深くお詫びします。次号より一カ月一回発行しますので、皆様御協力をお願いします。

◎ 財政再建キャンペーン

……REFはみなさんの会費で運営されています……

昭和60年3月31日までの未納額 30,8000のうち、昭和60年8月1日現在 20,1000が納入されました。

・第6期(60.4.1~61.3.31) 会費納入率
昭和60年8月1日現在、**44%**

〈納入方法〉

- 振込先 … 福井相互銀行 駅前支店
口座番号 3065738 塚本 勝典
- 直接納入の場合は、(財)地域環境研究所 南部 康江 さんまで。

※ 分割払いもOK!!

案件3：第6期予算案

収 入	予 算
1. 会 費	871,000
2. 会費(未納分)	308,000
3. そ の 他	3,941
4. 繰入金(赤字)	-83,941
計	1,099,000
支 出	予 算
1. 分科会活動助成金	120,000
2. 理論研究会助成金	20,000
3. 談話会助成金	80,000
4. 研修会助成金	20,000
5. 機関紙印刷費	258,000
6. 総会・中間報告会費	25,000
7. 通信連絡費	67,000
8. 旅 費	10,000
9. 予 備 費	50,000
10. 積 立 金	224,000
計	1,099,000

分 科 会 だ よ り

<p>交 通 活動なし</p> <p>今期のテーマは、福井市中心部の通過交通を減少させるための新環状道路整備問題についてです。このテーマに関心のある方の積極的参加を希望します。</p> <p>第1回は、10月11日(金) 福井大学交通計画研究室の予定です。</p>	<p>水 9/25(水) REF会議室</p> <p>今期のテーマは、前期に引き続き水環境についてですが、今度は水質問題と並行して、都市内の小水路についても検討する予定です。なお、この日は福井高専の奥村氏がREF入会希望者として参加しました。</p> <p>次回は、10月23日(木)の予定です。</p>	<p>住 9/3(火) 喫茶店</p> <p>今期のテーマがまだまとまらず、検討中といったところです。</p> <p>次回は、未定。</p>
<p>録 7/25(木)、8/3(土) 福井大学高嶋研究室</p> <p>今期は主に緑と都市防災に関して行ないます。</p> <p>7/25 ……方針検討 8/3 ……都市防災等資料と今後の計画打合せ 9/21-23…東京都江東区白鷺地区・隅田公園・さくら橋等見学 以後は1~2ヶ月に1回程度は会合を持ちます。次回は、未定。</p>	<p>土地利用 8/9(金)、9/17(火) REF会議室</p> <p>今期のテーマは、レジャー、遊戯施設としての商業空間についてです。10月中に商業空間のアンケート調査を行ないます。</p> <p>次回は、10月8日(火) REF会議室の予定です。</p>	<p>地 盤 9/5(木)</p> <p>今期の基本方針は前期と同じですが、特に物理探査による地盤の計測法の確立と地盤データベースシステムの完成を目標にしています。</p> <p>次回は、10月9日(水) 福井大学福井(卓)研究室の予定です。</p>

第一回 幹事会 報告

第一回幹事会が、昭和六十年九月十八日(木)午後七時にREF会議室において開かれました。出席者は、児玉氏(幹事長)、加藤氏(副幹事長)、塚本氏(財務)中田(浩)氏(緑)、武井氏(土地利用)、杉本氏(理論研)、稲葉氏(談話会・広報)、村松氏(研修会)、舟川君(広報)の十名で、以下の事項を提案、了承しました。尚、次回は十一月二十日の予定です。

- 一、第六期REF運営基本方針について
 - * 約七十名となった組織の巨大化に対処するため、会員のコミュニケーションを深めるなど、組織の活性化を図ることを進言。
 - * 談話会を二ヶ月に一回(年六回)のペースで開くよう提案。おもしろい企画がありましたら担当幹事まで。
 - * REFNEWSを定期的に発行するため、広報のサポートグループ(杉本氏、杉原氏、舟川君)の結成を提案。
 - * 分科会活動助成金が、十二月頃に各分科会へ二万円支払われるそうです。
 - * 全国の類似組織との連絡をとるための準備運動開始を提案。
- 二、理論研究会について

第一回理論研究会の開催が十月上旬に変更。講師は杉本敬一氏の予定です。
- 三、談話会について

十月二日(木)に県職員会館において行なわれることが決定。講師は小谷正典氏(県立薬師高校教諭)、テーマは「大正と福井市」です。尚、詳細は号外を参照。
- 四、研修会について

先に行なったアンケート調査の結果より、海外研修は韓国・ソウルが有力となりました。尚、候補地第一位のカナダ・バンクーバーは、費用の関係から(ツアーで約三十

五、会員の入退会について

近藤幸次氏(県東京事務所)より会員から会友への移動(昭和六十三年三月三十一日まで)の希望がありました。

万円とか)IREで参加メンバーを募集するかもしれないとのこと。また、国内研修は他研究会との交流・意見交換から秋田を訪問してはどうかという案が有力です。

【研修会企画のためのアンケート調査結果】 (回収16票)

- ①海外研修調査対象地の希望
- | | |
|------------------|----|
| 1位: カナダ・バンクーバー | 8 |
| 2位: 韓国・ソウル | 4 |
| 3位: パプアニューギニア | 3 |
| 4位: ブラジル、中国南部、台湾 | 各1 |
- ②国内研修の希望
- ・他研究会との交流、意見交換 8
 - ・先進地域視察、調査 5

【海外研修調査対象地に対する費用他】

- ・カナダ・バンクーバー … ツアー約30万円(7泊8日)
- ・韓国・ソウル … " 約11万円(4泊5日)
- ・パプアニューギニア … 航空運賃 約50万円、データなし
- ・ブラジル … " "
- ・台湾 … ツアー約13万円(4泊5日)

おめでた

八月十三日(火)に、稲葉氏に長女が誕生！
いろいろと悩んだ末、『千紘』(ちひろ)と命名。
元気にすくすくと育って下さいね。オメデトウ！

話 壇 ち ね

◎ 財政再建キャンペーン 第二弾！！

第6期よりREFの健全な財政を目指して鋭意納入に御協力いただいた結果、第5期末納金 308,000円のうち 220,000円が納入され、あと僅かとなりました。(まだ納めていないAさんBさんお願いします。次のNEWSでは名誉あるお名前が紙面を飾ることになるかもしれません。)

また、第6期の納入状況は下記の通りですが、年末をひかえ、各分科会助成金の支払いのこともあり、なお一層の御協力をお願いいたします。

*第6期(60.4.1~61.3.31)会費納入率
昭和60年10月末現在、 60%

〈納入方法〉

- 振込先 福井相互銀行 駅前支店
口座番号 3065738 塚本 勝典
- 直接納入の場合は、(財)地域環境研究所(大名町ロータリー三谷ビル2階)南部 康江さんまで。

※ 分割払いもOK!!

第一回理論研究会 開催のお知らせ!

なかなか開催月の決まらなかった理論研究会ですが、十一月中には開催することとなりました。なお、発表のテーマは『都市供給処理論』で、講師は杉本教一氏です。興味ある方の積極的参加を期待しています。また、詳細については号外でお知らせします。

分科会 だ よ り

交 通 10/11(金) 福井大学交通計画研究室

今期の仮題と目次がほぼ決定しました。(内容は以下の通りです。)なお、このテーマに関心のある方の積極的参加を希望します。

〔仮題〕福井市の第3環状道路の整備に関する研究

- 〔目次〕
- わが国の環状道路の整備状況
 - 道路網と歴史、風土、文化、産業
 - ヨーロッパの都市道路網
 - 福井の環状道路(近世~戦災復興まで)
 - 第3環状道路の必要性

①土地利用、②交通、③耐雪の面から

6. 第3環状道路構想

今回は、11月12日(火)福井大学交通計画研究室の予定です。

緑 10/30(水) 福井大学高嶋研究室

今期のテーマを都市防災の中でも都市防火対策にしぼりました。なお、今後は研究フローの検討、必要な資料(データ)の検討を行ないます。

今回は、11月21日(木)福井大学高嶋研究室の予定です。

土地利用 10/8(火)、10/30(水) REF会議室

11月10日に実施が決定している『福井の商業に関するアンケート』の最終的な打合せを行ないました。この調査は郊外への進出が著しい商業店舗について、その商圈を分析するものであり、中心部との違いについて考察する予定です。また、この議題以外に各自が商業に関する文献の紹介をしました。

今回は11月13日(水)で、アンケートのコーディネートを予定しています。

水 10/23(水) REF会議室

この日は、(社)地域振興研究所の水野氏が初参加されました。今期は、前年に引き続き都市内水路の環境、修景について研究することになりました。前半は、とりあえず芝原用水の歴史や水質に関するデータ収集を行ないます。

今回は、11月27日(水)REF会議室の予定です。

住

10月中の活動はありませんでした。また、テーマは現在検討中です。今期こそは頑張ります!!

今回は、11月13日(水)に集まる予定です。

地 盤 10/30(水) 福井大学福井(卓)研究室

今回から、①地盤データシステムの構築、②調査資料の収集、整理、③物理探査の3班に分かれて、作業を行なうことにしました。

今回は、11月20日(水)福井大学福井(卓)研究室の予定です。

第一回談話会

開催される！

第一回談話会が、昭和六十年十月二日（木）午後六時四十分から、県職員会館において開かれました。

今回は、県立藤島高等学校教諭の小谷正典氏をお招きして、『一九二〇年代の電気鉄道敷設計画』…福井市の都市構造の変質と環状線敷設計画…という題でお願いました。（以下に、その内容の一部を紹介いたします。）

なお、参加者はR E F会員十五名にビジターとして内山秀樹氏（三和測量建設）を加えた計十六名で、活発な質疑応答が交されました。（参加者は以下の通りです。敬称は略させていただきます。）

…本多（義）、見三、加藤、塚本、中田（治）、万匠、前川、稲葉、杉村、内山、金子、古瀬、那須、伴、舟川、三上

『一九二〇年代の電気鉄道敷設計画』

福井市は、明治新政府後、早くから鉄道に注目しており、明治二六年の北陸線工事開始の前後から、様々な鉄道会社が敷設計画を行なってきた。また、大正初期の絹織物景気の隆盛により、大正八年には加越電気鉄道が地方電車線・福井市街電車線の敷設計画を申請するに至った。

しかし、この計画はその後の不景気により実現せず、大正十五年には福井市郊外環状電鉄が新たに敷設計画を申請し、また福井電鉄も福武線の開通に伴い、別の環状線計画を持っていた。ところが、地元住民間の感情の対立などで、これも失敗に終わってしまった。

このように、福井市民の鉄道熱は、環状線計画がなかなか実現しないために次第にさめてきた。そのため、これらの環状線計画は、昭和に入ってから福武線の福井駅前への乗り入れ、越前電鉄の乗り入れなどにおさまってしまい、その後は道路網を中心とした都市計画へと移行していった。